

Mies EV PORT M

施工説明書

第1版

2023年4月

このたびは、“ミース EV ポート M”をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本施工説明書では電気自動車とプラグインハイブリッドをEV、コントロールボックス付き充電ケーブルを充電ケーブルと記載しております。

施工前にこの施工説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

本施工説明書に記載されていない操作または取り扱いをされた場合、理由のいかんにかかわらず、事故や故障の責任は負いかねますので、ご了承ください。また本施工説明書は、別紙『取扱説明書』とともに大切に保管してください。

もくじ

施工前に

| | |
|------------------|-----|
| 施工前の確認 | 3 |
| 安全上のご注意 | 4～6 |
| 施工手順 | 7 |
| 施工に必要なもの | 7 |
| 各部の名称とはたらき | 8 |

正しい施工のしかた

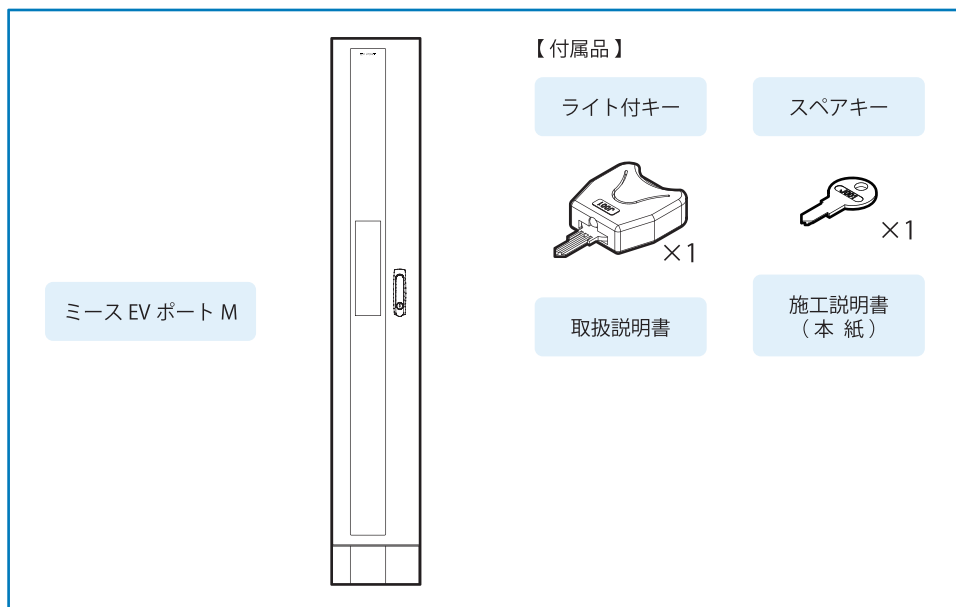
| | |
|--------------------|------|
| 設置準備 | 9～10 |
| ■ 付属のキーの確認 | 9 |
| ■ 内機を取り外し | 9 |
| ■ 配線ダクトを取り外し | 10 |
| 基礎工事 | 11 |
| 本体の設置 | 12 |
| 配線工事 | 13 |
| 内機を取り付け | 14 |
| 施工後の確認 | 15 |

施工前の確認

施工前にお確かめください

施工前に丁寧に開梱し、次の点をお確かめください。
異常がございましたら、購入元にご連絡ください。

- (1) 輸送中の事故などにより、製品が破損していないかお確かめください。
- (2) 開梱したときに水濡れがないことを確認し、お使いください。
- (3) 下記のものが入っているか、仕様がご要求のもの一致しているか、お確かめください。





安全上のご注意



必ず、お守りください

お使いになる人や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害は次のように想定されます。それぞれの表示と意味を区別して、説明しています。

| | |
|---|---|
|  警告 | 死亡または重傷の発生が想定される内容です。 |
|  注意 | 中程度の障害や軽症の発生または物的損害のみが想定される内容です。 |

- お守りいただく内容を次の絵表示で区別して、説明しています。

| | |
|---|-------------------------|
|  | してはいけない禁止している内容 |
|  | 必ずしなければならない強制の内容 |

警告



■ 有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

- 内線規程等の法規を遵守して正しい工事をおこなってください。
- 工事・点検時は主幹ブレーカを必ず切ってください。
感電や短絡事故の恐れがあります。
- 正しい配線工事をしてください。
誤結線があると発火、感電、故障の原因となります。
- 配線は適合した電線・圧着端子および圧着工具を使用してください。
発熱、火災の恐れがあります。
- 導電部の接続ねじは下記の適正締め付けトルクで確実に締め付けてください。
また工事終了時にすべての導電部のねじを必ず増し締めするとともに、定期的に増し締めしてください。
ねじが緩んでいると発熱し、火災、故障、誤作動の原因となります。



| ねじサイズ | 締め付けトルク N・m (kgf・cm) |
|-------|---|
| M4 | 1.2 ~ 1.6 (12.2 ~ 16.3) |
| M5 | 2.0 ~ 2.5 (20.4 ~ 25.5) ※ソルダレス端子の場合 1.6 ~ 2.0 (16.3 ~ 20.4) |
| M6 | 3.0 ~ 4.0 (30.6 ~ 40.8) |

- 外部信号や連動回路により、突然動作することがあります。
電源や信号を OFF 状態にして作業してください。
- 接地線は接地端子に確実に接続してください。
接地工事に不備があると、感電の恐れがあります。

⚠ 注意



- 弱電回路は絶縁抵抗測定をしてはいけません。
機器が故障します。

- 設置環境は下記条件でご使用ください。
下記条件以外の特殊な環境にてご使用される場合は、設置前に弊社へご相談ください。
特殊な環境で使用した場合、性能や機能を損なう恐れがあります。

| | |
|---|--------------------------|
| 設置場所 | 屋内・屋外兼用 |
| 標 高 | 2000m 以下 |
| 周囲温度 | -10～40℃かつ、24時間の平均値 35℃以下 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 結露は内部機器に影響のない程度とする ● プレーカの操作が容易にできる場所 ● 氷雪によりドアの開閉に影響がでない場所 ● 盤に対して、外部に起因する振動がない場所 ● 周囲の空気の塵埃、煙、腐食性・可燃性の気体、蒸気および塩分による汚染が発生しない場所 | |



- 電源・負荷の配線は相・線式・電圧・容量をご確認のうえ、施工してください。
発熱、火災、故障の原因となります。
- 電源側、負荷側等の表示があるプレーカの負荷側には電源をつながないでください。
発火、感電、故障の原因となります。
- 機器用電線など芯線の細いより線を使用する場合は、棒状あるいは板状圧着端子をご利用ください。
- タイマーの設定などが間違っていると、機器の動作不良や照明の不点灯などの原因となります。
関連要素をご確認のうえ、正しく設定してください。
- 保護継電器等の使用条件にあわせて再設定してください。
- 漏電遮断器を使用している場合、線間の絶縁抵抗計測は、内部回路上負荷側の電線を外し（欠相検出リード線付の場合はリード線も外し）でおこなってください。
負荷側配線と大地間の測定は、ハンドルを OFF 状態にいただければ、逆接続可能形も含め問題なく測定できます。
- プレーカの負荷側回路で短絡事故が起きた場合は、プレーカの取り替えをしてください。
- ミース EV ポート M への通線穴加工時、内機に切粉やゴミがかからないよう養生の処理をしてください。
切粉やゴミがかかると感電、故障の原因となります。
施工後は切粉やゴミを完全に除去してください。
- ミース EV ポート M 内に虫（ゴキブリ・アリなど）の侵入の恐れがある貫通部には、防虫対策をおこなってください。
虫（ゴキブリ・アリなど）が侵入すると感電、故障の原因となります。
- ミース EV ポート M の設置は取付面の水平を確認し、仕様図に指定されているすべての箇所を適切な太さのボルトで堅牢におこなってください。
- チャンネルベースの取付面の水平を確認し、適切なアンカーボルトをもちいて堅牢に取り付けてください。
また必要に応じて転倒防止の処理をしてください。
設置に不備があると事故の原因となります。
- コンクリート壁に埋め込むことはできません。

⚠ 注意

- 通風口がある場合は塞がないでください。
故障、発熱の原因となります。
また安全のため十分な保守・点検スペースを確保してください。
- 水の浸入の恐れがある貫通部には、防水処理をおこなってください。
内部に水が入ると漏電、故障の原因となります。
- 本体背面は凹凸のある場所を避けて、アンカーボルトなどで確実に壁面へ固定してください。
固定が不十分な場合は部品が外れ、落下するなど事故の原因となります。
- 本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実におこなってください。
- ドアをもって運ぶと本体から外れて落下する可能性があるため、おこなわないでください。
- ねじ部品は締め過ぎないようにご注意ください。
締め過ぎますと部品の破損事故の原因となります。
- 取付部のねじは下記の適正締め付けトルクで確実に締め付けてください。
また工事終了時にすべての取付部のねじを必ず増し締めするとともに、定期的が増し締めしてください。
ねじが緩んでいると発熱し、火災、故障、誤作動の原因となります。

| ねじサイズ | 最小締め付けトルク N・m (kgf・cm) |
|-------|------------------------|
| M4 | 0.784 (8.0) |
| M5 以上 | 0.98 (10.0) |

施工手順

施工をおこなうときは、下記で手順をご確認ください。



施工に必要なもの

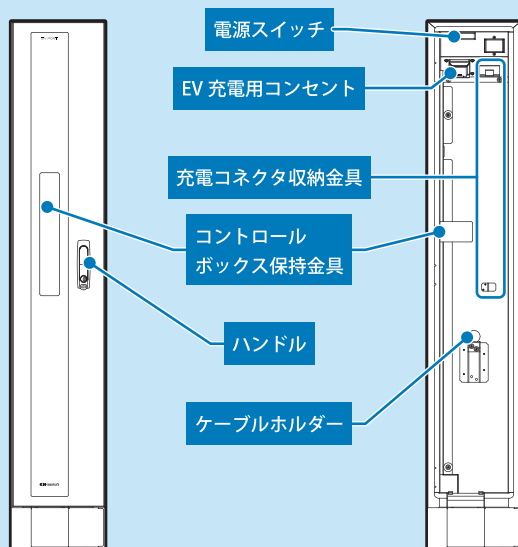
施工に必要なものです。

ミース EV ポート M 本体

付属のキー（ライト付キー・スペアキー）

施工説明書（本紙）

各部の名称とはたらき



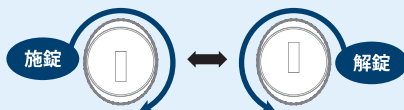
ハンドル

ハンドルのレバーを持ち、ドアを開閉します。

※「施錠」状態では、レバーを押し上げることができません。

解錠・施錠

付属のキーを鍵穴に差し込み
180度まわします。
鍵穴が下のときは施錠、
上のときは解錠となります。

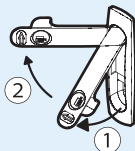


ご注意

ドアを開閉するときは、必ずハンドルを持ち、手を挟まないよう、十分にご注意ください。

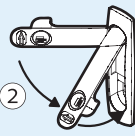
ドアを開ける

- ① ハンドル下部の隙間に指を入れ、レバーを押し上げてください。
- ② レバーをにぎり、左方向にまわして、そのまま手前に引いてください。



ドアを閉める

- ① レバーを左方向にまわした状態で押して、ドアを閉めます。
- ② レバーを元の位置に戻してください。



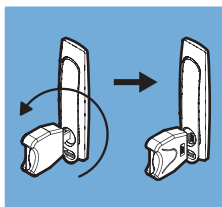
設置準備

■ 付属のキーの確認

付属のキーで解錠・施錠できることをご確認ください。
また付属のキーおよび鍵穴のまわりに鍵番号が記されています。
施工前に施工説明書と取扱説明書の表紙などに鍵番号を記入してください。
※鍵番号は付属のキーを紛失した場合に必要となります。

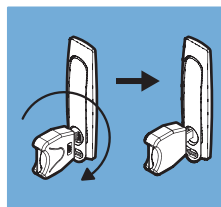
解錠

付属のキーを鍵穴に差し込み、左に180度まわして解錠します。



施錠

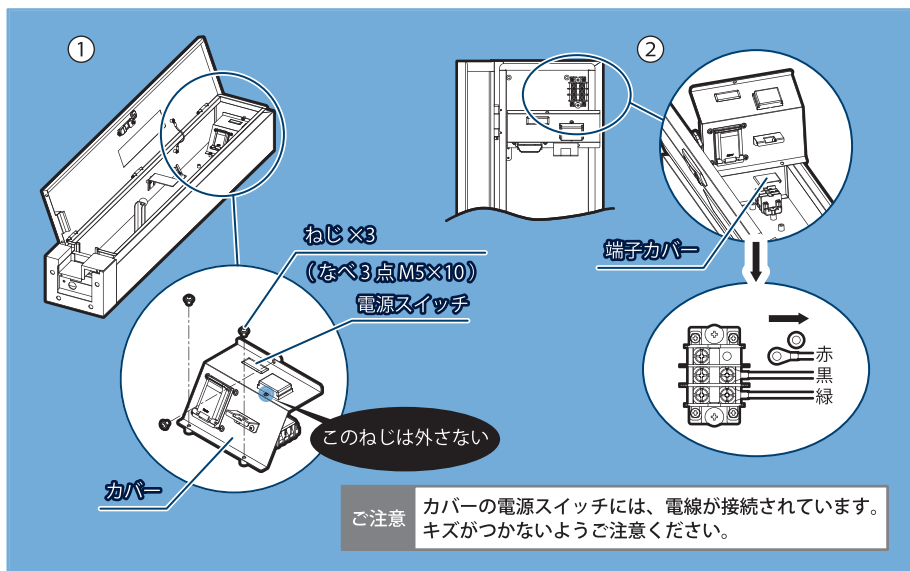
付属のキーを鍵穴に差し込み、右に180度まわして施錠します。



■ 内機の取り外し

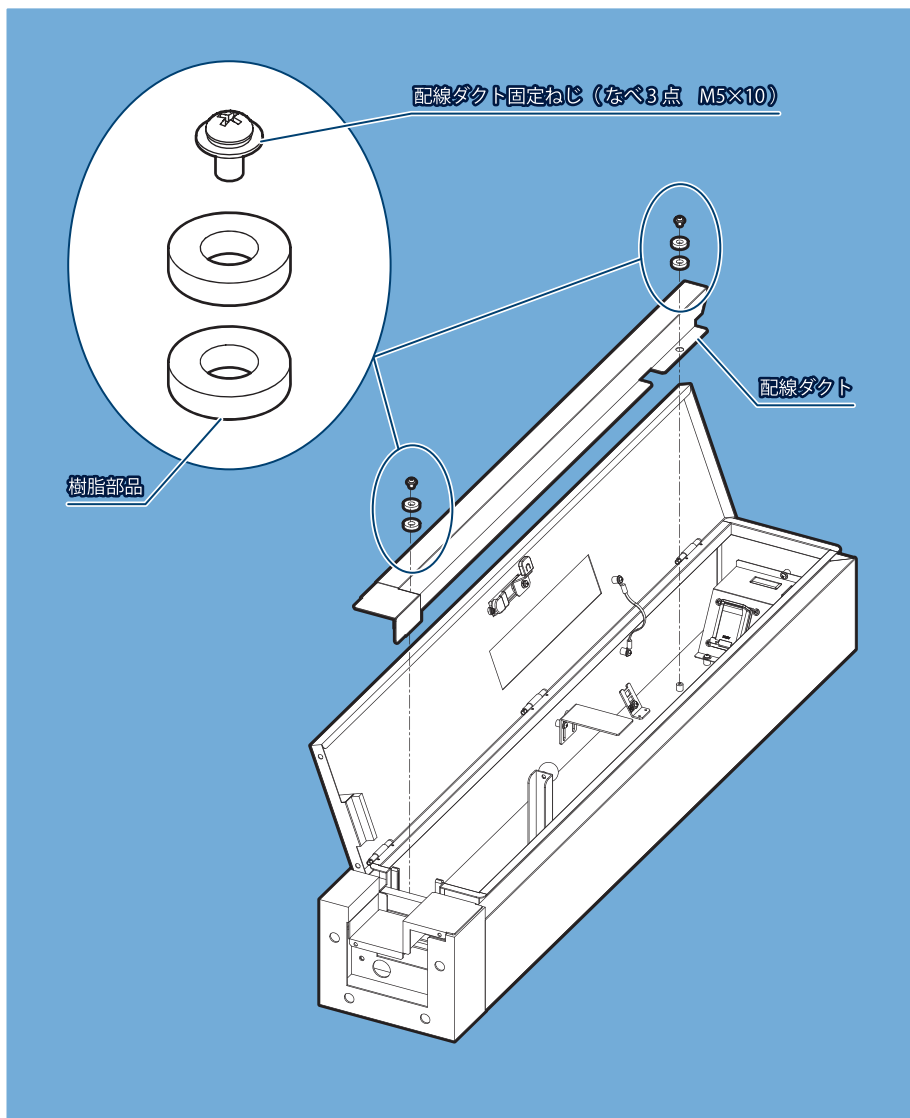
取り外しは床の上など水平な場所でおこなってください。

- ① カバーをとめているねじを外します。(上と下の左右3箇所)
- ② 端子台のカバーを外して、端子台から電線を外してください。



■ 配線ダクトの取り外し

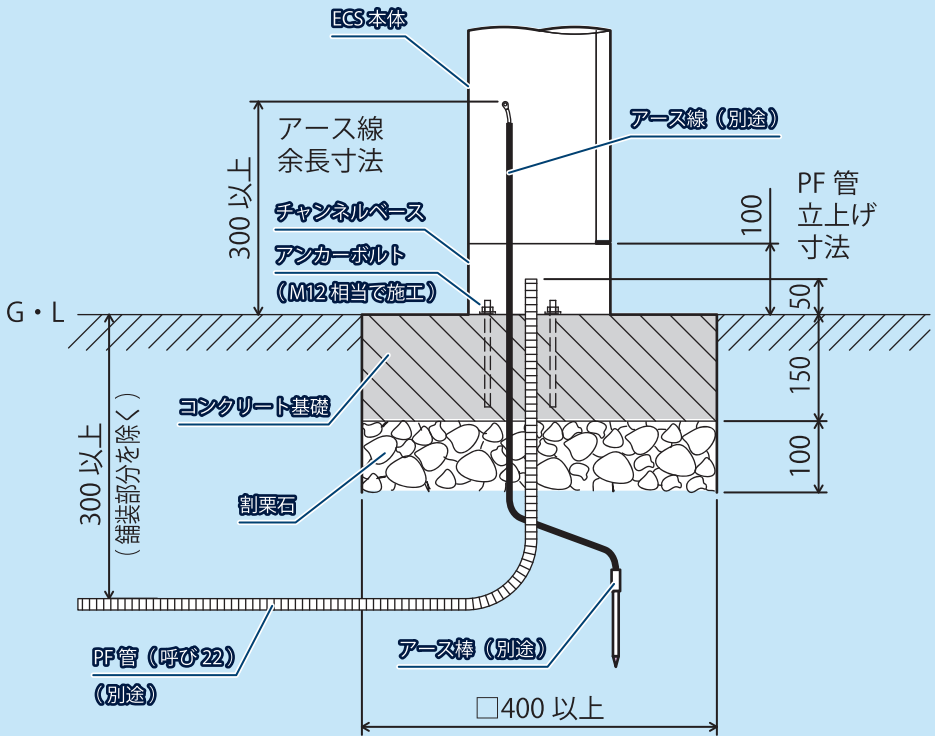
配線ダクトの固定ねじと樹脂部品を外して配線ダクトを外してください。



基礎工事

ミース EV ポート M を設置する場所に基礎工事が必要です。
下記の方法で基礎工事をおこなってください。

ご注意 チャンネルベース取付面は凹凸がなく水平に仕上げてください。

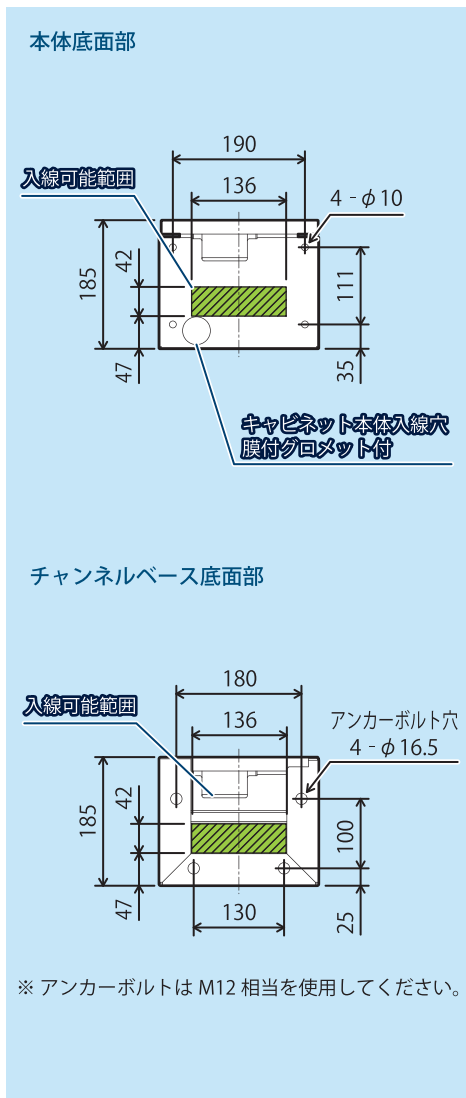
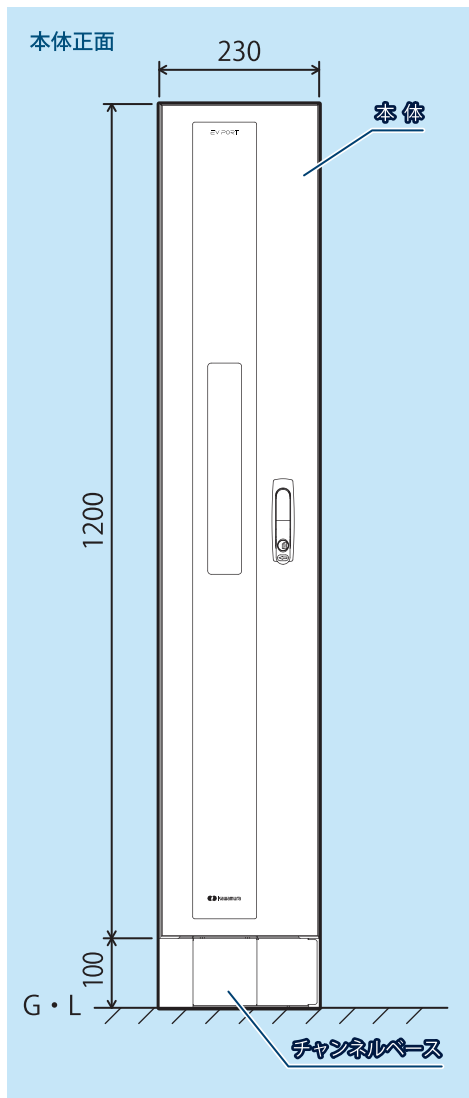


本体の設置

ミース EV ポート M 本体は、水準器を使って、必ず水平に設置してください。

ご注意 チャンネルベース取付面は凹凸がなく水平な場所に設置してください。

[単位 : mm]



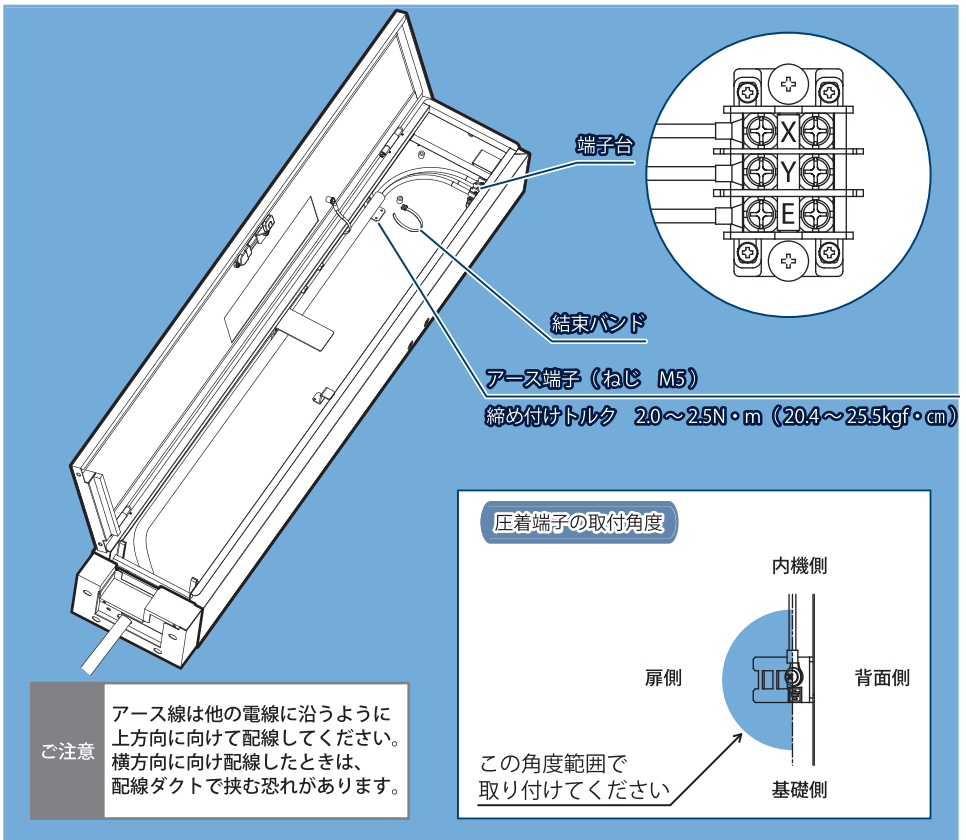
配線工事

コンセントからアース端子までのアース（接地）工事をおこなってください。
またアース（接地）工事はアース端子を必ず使用してください。

電源の配線に向かって左側の覆い内を通して、端子台に接続してください。
配線余長を取る場合にはカバーでケーブルをキズつけないようご注意ください。

アース線は圧着端子で接続してください。
以下の本数を超えるアース線は接続しないでください。

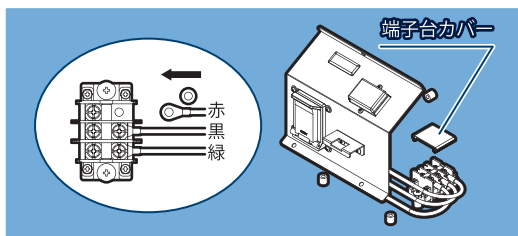
- ・ 5.5mm²以下の場合：2本
- ・ 8mm²の場合：1本



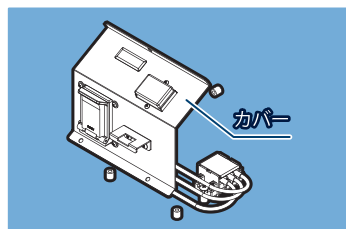
内機と配線ダクトの取り付け

『設置準備』P.9 で取り外した内機と P.10 で取り外した配線ダクトを以下の方法で取り付けてください。

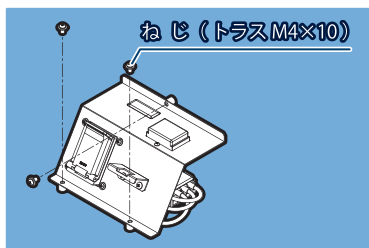
- ① 電線を接続して端子台カバーを取り付けてください。



- ② カバーをかぶせます。
※電線をキズつけないよう、ご注意ください。



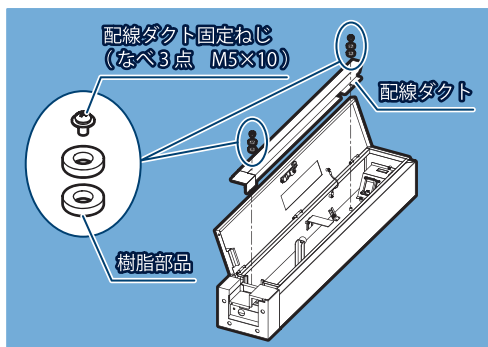
- ③ カバーのねじを取り付けてください。



- ④ 配線ダクトを固定ねじと樹脂部品で取り付けてください。

ご注意

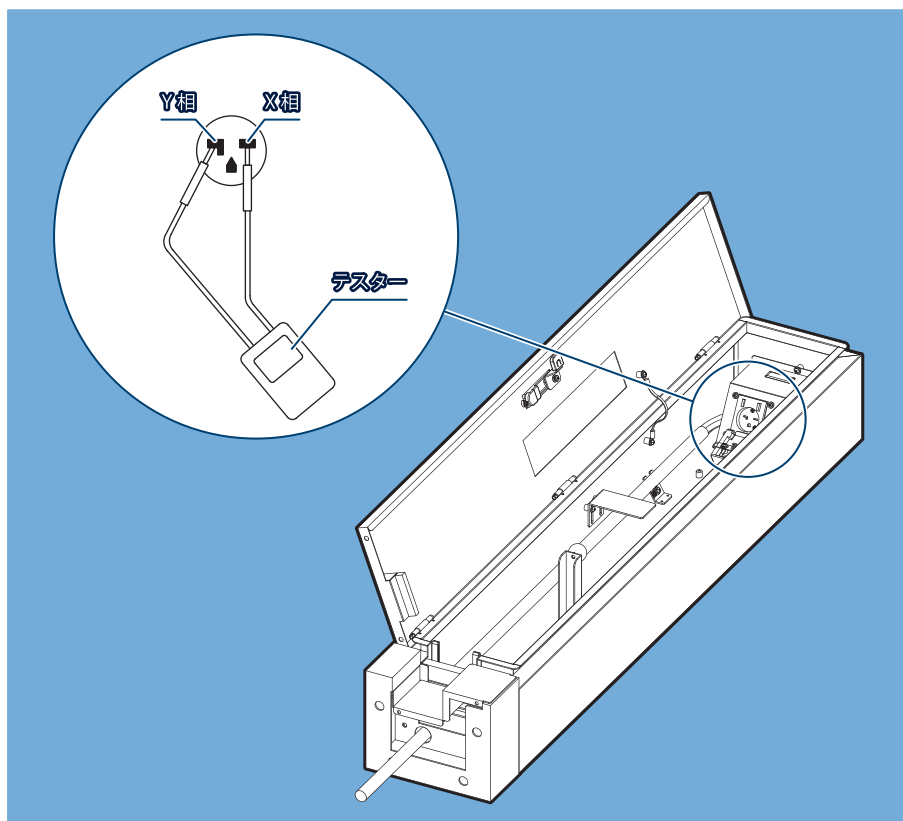
配線ダクトを取り付けるときは、電線を挟まないようご注意ください。



施工後の確認

施工完了後は施工の確認をおこなってください。

1. ミース EV ポート M の傾きはありますか？
がたつきなく固定されていますか？
2. 内機はがたつきなく固定されていますか？
3. 電源線・通信線は正しく確実に配線・接続されていますか？
4. テスターの測定はおこないましたか？測定された数値は正しいですか？



5. アース端子は D 種接地工事がされていますか？
6. 接続部の締め付け確認は実施しましたか？

●販売元

株式会社 **ユニゾン**

〒473-0925 愛知県豊田市駒場町藤池17番1
HPアドレス <http://www.unison-net.com>

0104231